

まちなかのおと12月号

広報・編集部

2021年12月

note / nout / 【原義：符号、印、】

① 覚え書／メモ／記録 ② 注(釈)／注解 ③ 短い手紙／短信 ④ 音／調子／詩／旋律

▶
に
い
や
さ
か
広
場
前
の
岩
礁

まちなかの教科外学習

詩の道草フィールドワーク：水辺の生き物篇

11月3日(文化の日)、好天のもと開催しました詩の道草・水辺の生き物篇フィールドワーク！(※詩の道草とは、「能登を言葉にうつしとる」をキーワードに、町で出会ったものをメタファー(隠喩)として採集する活動です)中高生に加え、保護者やスタッフの家族も加わり、計10名でワイワイ楽しい時間を過ごしました。今回案内していただいたのは、能登里海教育研究所で働く能丸恵理子(ノマル・エリコ)さん。能丸さんの解説を聞きつつ、まずはいやさか広場、それから海洋ふれあいセンターの順で回りました。

— 1：ボカボカのいやさか広場

まずはいやさか広場。とりわけ身近な海ですが、よく観察してみると、そこは無数の生き物の住处なものでした。そこら中に転がる黒い球体の正体はウニという衝撃。岩にくっつく石ころらしきものも、実は貝。その貝にくっついている緑も、藻という立派な生物で、貝と共生関係にある。岩々の間には小魚たちが泳ぐ姿を確認。

— 2：夕刻を迎える九十九湾へ

お日様もボカボカ温かく、和やかな時間をいやさか広場で過ごした一行。盛り上がりのために少々遅れて(!)次は海洋ふれあいセンターへ。ここでは持ってきた長靴を装備し、波打つ浅瀬ヘジャブジャブと入って海中観察。サザエに小エビに、綺麗な貝殻、カッコいい瓶の破片に、おしゃれな姿の海藻、海水を嫌う貝(ならなぜ海のそばにいる…)。

— 3：タコとの遭遇

一番の盛り上がりを見せたのはタコとの遭遇！3年ほど生きたかどうかという幼子が貝を海に投げ返しました。岩陰へゆらゆら落ちてゆく貝殻。そして、なんとその先にいたのが、タコ！思いもよらない大物の出現に一同「タコいた！タコ！タコ！」「ホラそこ！」「ホラホラホラホラ」の大合唱(下記QR動画参照)。捕獲へ向けて即座に動き出した生徒たちでしたが、そこはタコも生を賭して必死の抵抗。一瞬、網で捕まえかけたものの、そこはさすがのタコさん。墨を噴射して脱出し、無事に逃げおおせたのでした。逃したタコは大きい。いやあ凄かった。やたらと騒ぐ、齢もはるか10を越した人間たちをよそに、幼子2人はただただ呆然、タコの残していった墨を見つめているのでした。

▶
参
加
し
た
み
ん
な
で
パ
ン
ヤ
リ

今回の様子は動画でもお楽しみいただけます！生き物の姿や、夕暮しの音、詩的な情景を、ぜひ高画質にて。



▲九十九湾にいた小エビちゃん。観察後は海へお返ししました



▲11月の海にドボン

— 4：そしてメタファーを採集

波間をとっぴりと満たす夕焼けの光が、楽しかった時間の終わりを告げます。一同、塾へ帰還！そして忘れちゃありません。今回の最大の目的、そう、メタファー採集です。能丸さんの眼も借りて、海を見つめ、そこで見聞きしたものを、あとで思い出せるように言葉へと写す。その際に頼りになるのがメタファー、つまり喩え(たとえ)です。心にひっかかったものを、なにかに喩えて、言葉へ移し替えていく。それだけでも立派な詩です。今回も沢山のメタファーが採集されました。案内いただいた能丸さん！参加してくれた皆さん！楽しい時間をありがとうございました！(文責・飯野)



青い町	青い町には四六時中落ちつく音楽が流れている。しかし誰も聞こうとしないし、聞こえない。青い町には、無限にシエラハウスがある。似たやつと群れ、空をスィーッと走るやつ
実は器用で全身からトゲを生やすやつ	人気を集めるやつ
人気があつたけどピークがすぎたやつ	ひきこもってるやつ
色んなやつが住んでいる	しかし、青い町にゴミが落ち、汚れている、
青い町のやつではなく、	別の世界に住むやつのせいだ！
採集したメタファー・アルバム	①手の平サイズの大海 ②しがみつく石ころ ③流れつく星々 ④沈みゆく草原 ⑤自由と命の境界線 ⑥陰からののびる針 ⑦穏やかな咆哮 ⑧真っ赤な執着 ⑨青い地獄 ⑩揺らめく落ち葉 ⑪宝石探し ⑫小さな魚さん ⑬波の音 ⑭目薬 ⑮中くらいの石ころ ⑯生きていくという叫び ⑰絹布団

メタファーの正体はこちら！

※後1日⑩ 景観の心・季刊書の心⑪ 漆の心⑫ 漆の心⑬ 漆の心⑭ 漆の心⑮ 漆の心⑯ 漆の心⑰ 漆の心⑱ 漆の心⑲ 漆の心⑳ 漆の心㉑ 漆の心㉒ 漆の心㉓ 漆の心㉔ 漆の心㉕ 漆の心㉖ 漆の心㉗ 漆の心㉘ 漆の心㉙ 漆の心㉚ 漆の心㉛ 漆の心㉜ 漆の心㉝ 漆の心㉞ 漆の心㉟ 漆の心㊱ 漆の心㊲ 漆の心㊳ 漆の心㊴ 漆の心㊵ 漆の心㊶ 漆の心㊷ 漆の心㊸ 漆の心㊹ 漆の心㊺ 漆の心㊻ 漆の心㊼ 漆の心㊽ 漆の心㊾ 漆の心㊿ 漆の心



第1回：海×海洋ゴミ問題

9月に開催した今年度最初の鳳雛ゼミでは世界中で深刻な問題となっている海洋ゴミ問題をテーマに学びました。

ゲストは珠洲で海岸清掃活動をしているSuzu beach cleanの竹下さん。ゴミを使ったアートやアップサイクル(リサイクルすることでモノの価値を高めること)などゴミの新しい活用法に参加者は興味津々。ここでの出会いをきっかけに、竹下さんらとゴミ拾いに参加した能登高校生もいます。興味をもったことを行動に移すってすばらしいですね！

第2回：海×漁業問題

11月に開催した第2回では能登の漁業問題、特に外国船による違法操業問題と、能登の漁業の歴史を考えました。

イカの被り物をして現れたゲストの灰谷さんは能登町役場で働く傍ら、町の活性化のためイカす会の再生など様々なことに取り組んでいます。講演会のテーマは「小木の開拓者精神とレジリエンス(復活力)」これまで何度も困難にぶつかりながらも諦めずに立ち上がってきた漁師と町の人々の歴史に、参加者からは「感動した！」との声多数。



今年度も残すところあと1回！ 鳳雛ゼミ、実施レポート

第3回：海×環境問題

12月に開かれた第3回では、地球温暖化について学びました。よく聞くテーマですが、能登の海にどんな影響があるのでしょうか。実は日本近海の海水温度の上昇率は世界の平均よりも高く、すでに様々な変化が起きているのです。

ゲストは金沢大学の竹内教授。海藻など自然に還る素材からプラスチックを作るプロジェクトが進行しているそうで、これから能登高生の力も借りたい、とのこと。金大と能登高のコラボレーション、楽しみです！



第4回：海×ビジネス

【仕事を通して地域の未来をつくるには？】

2月13日(日) 13:00~17:00 開催！

能登高校生と一緒に学ぶ方を募集しています。

一緒に地域のことを学んでみませんか？

初めての方も大歓迎！お待ちしております。

参加申し込みはまちなか鳳雛塾のSNSか、

お電話からお願いします。



☎ 0768-84-5282

大募集！

大学入試でも「課題解決力」が問われ場面が増加中！

※1：総合的な探究の時間

社会で必要となる課題発見力・解決力を身につけるため、生徒自ら課題を探し、解決に向けて考え、行動する課題解決型学習。

高校や学科の選択は今後の人生のターニングポイントのひとつ。充実した高校生活を送るためにも、その先の将来のためにも、まずは今しっかり自分の進路に向き合ってみましょう。今回のイベントが少しでも参考になれば幸いです。



▲たくさんの方が説明会に集まってくれました



▲能登高校生と一緒にクリスマスイベントを相談する中3生

進路説明会&探究学習体験会

中3生へ贈る！

11月19日、まちなか鳳雛塾に通う中学3年生とその保護者を対象とした説明会を開催し、能登高校での学びやカリキュラムの特徴などをお話しました。

翌週には同じく中3生を対象に、高校で学ぶ総合的な探究の時間(※1)の体験イベントを行いました。今回はまちなか鳳雛塾が抱える課題「学年を越えた交流が少ないこと」の解決策としてクリスマスイベントの企画としてグループに分かれて話し合い、最後に発表しました。各グループには既に探究活動を高校で経験する能登高校生にも参加してもらい、探究サイクルを意識しつつ、楽しく話し合いました。



お知らせ

◇小学生クラス・中学1年生クラスは定員充足のため募集停止しております。



▶小学生クラスでカルメ焼きを作る実験を行いました！が、想像以上に難しく、成功者はただ一人……！



まちなかの予定

よいお年を！

12月

～3日 2学期期末考査

5日 第3回鳳雛ゼミ

11・12日 高3同時刻模試

18日 高1・2総探発表

23日 2学期終業式

24・27日 高1・2冬期補習

29日～年末閉塾

1月

～3日 年始閉塾

4日 開塾

5・6日 高3同時刻模試

7日 始業式

10日 高1・2模試対策

15・16日 大学入学共通テスト

22・23日 進研記述模試

Merry Christmas!

年末年始閉塾期間：12/29～01/03